

Part 1: 2025/04/04 Fri. -07/07 Mon.

Part 2: 2025/07/11 Fri. -11/16 Sun.

開館5周年記念展  
5th Anniversary Exhibition

ニユー

・  
ユートピア

わたし

たち

が

つくる

新

しい

生態系

Plastic  
Utopia:  
Our  
New  
Ecosystem

川内理香子  
工藤麻紀子  
小林エリカ  
SIDE CORE  
佐藤朋子  
さとうりさ  
ユイチロー・E・タムラ  
奈良美智  
渡辺志桜里

大巻伸嗣  
斎藤麗  
永野雅子  
蜷川実花  
島山直哉  
藤井光  
細川葉子  
松山智一  
和田礼治郎

ジャン=ミシェル・オトニエル  
ナウイン・ラワンチャイクン  
ほか

KAWAUCHI Rikako  
KUDO Makiko  
KOBAYASHI Erika  
SIDE CORE  
SATO Tomoko  
SATO Risa  
Yuichiro E. TAMURA  
NARA Yoshitomo  
WATANABE Shiori  
OHMAKI Shinji  
SAITO Lei  
NAGANO Masako  
NINAGAWA Mika  
HATAKEYAMA Naoya  
FUJII Hikaru  
HOSOKAWA Hako  
MATSUYAMA Tomokazu  
WADA Reijiro  
Jean-Michel OTHONIEL  
Navin RAWANCHAIKUL  
and more

5<sup>TH</sup>

弘前れんが倉庫美術館

HIROSAKI  
MUSEUM OF CONTEMPORARY  
ART

主催：弘前れんが倉庫美術館  
特別協賛：つみえ基金  
スターツコーポレーション株式会社  
協賛：株式会社大林組  
株式会社NTTファシリティーズ  
後援：東奥日報社  
デリー東北新聞社  
陸奥新報社  
青森放送  
青森テレビ  
青森朝日放送  
エフエム青森  
FMアップルウェーブ  
弘前市教育委員会

休館日：火曜日（ただし4/15・22・29、5/6、8/5、9/23は開館）、5/7、7/9・10、9/24  
開館時間：9:00-17:00（入場は閉館の30分前まで）  
Closed: Tuesdays (except on Apr.15, 22, 29, May 6, Aug. 5 and Sep. 23), May 7, Jul. 9, 10 and Sep. 24  
Opening hours: 9:00-17:00 (Last admission 30 minutes before closing)

# 街の中につくりだす、わたしたちの新しい生態系〈ユートピア〉

弘前れんが倉庫美術館は、2020年の開館から今年で5周年を迎えます。展覧会「ニュー・ユートピア」は、開館5周年を記念して、未来をうらなう若いアーティストたちの作品と、1万5千年をさかのぼるといわれる津軽地方の人間の営みに連なる作品を織り交ぜながら、わたしたちがつくりだす新しい生態系について考えようとする展覧会です。

わたしたちは、大小さまざまな「生態系」の一部としてこの世界を生きています。現在、「生態系」という言葉は、自然環境における命の循環の仕組みを示す本来の意味を超えて、人間の知的・文化的な活動によって影響を受けた、都市生活の構造に対しても用いられることがあります。わたしたちはいわば、自分たちの生きる世界(社会的な生態系)を自らつくり出すことができる創造主にもなり得るのです。

ここに登場するのは、食べ物とそれを取り込む身体や、人間と動物が重なりあうような神話的なイメージを描き出す川内理香子の絵画や刺繍、外来種を含む動植物が生息する水槽をつないで循環させることで、生き物が影響し合うあらたなシステムを作り出す渡辺志桜里のインスタレーション、さまざまな場所の地下空間を滑走するスケーターたちを捉え、普段は目に見えない巨大な地下都市の存在を浮かび上がらせる SIDE CORE の映像作品などです。

本展を通じて、自分たちそれぞれにとって未来のユートピアとは何か、考えるきっかけになることを目指します。

# Our new utopian ecosystems, created in the city

This year marks five years since opening of the Hirosaki Museum of Contemporary Art in 2020. To celebrate this fifth anniversary we present "Plastic Utopia," which weaves together the attempts of young artists to foretell the future, with works related to the 15,000-year history of human endeavor in the Tsugaru region, in an exhibition that looks at the new ecosystems we create.

Among the works presented are the paintings and embroidery of Kawauchi Rikako, featuring myth-like, overlapping images of food and the body that ingests it, humans and animals; an installation by Watanabe Shiori, who connects tanks serving as habitats for flora and fauna, including introduced species, setting in motion a cycle and creating a new system in which the organisms affect each other; and video works by SIDE CORE that capture skaters in various underground spaces, highlighting the existence of a vast city beneath our feet that is usually hidden from view.

"Plastic Utopia: Our New Ecosystem" encourages us to contemplate what our own version of a future utopia might look like.

**出品作家** 川内理香子、小林エリカ、ユーイチロー・E・タムラ、渡辺志桜里、SIDE CORE、工藤麻紀子、奈良美智、佐藤朋子、さとうりさ、ナウイン・ラワンチャイクン、ジャン＝ミシェル・オトニエル、藤井光、大巻伸嗣、斎藤麗、永野雅子、細川葉子、畠山直哉、和田礼治郎、蜷川実花、松山智一 ほか

**Artists** KAWAUCHI Rikako, KOBAYASHI Erika, Yuichiro E. TAMURA, WATANABE Shiori, SIDE CORE, KUDO Makiko, NARA Yoshitomo, SATO Tomoko, SATO Risa, Navin RAWANCHAIKUL, Jean-Michel OTHONIEL, FUJII Hikaru, OHMAKI Shinji, SAITO Lei, NAGANO Masako, HOSOKAWA Hako, HATAKEYAMA Naoya, WADA Reijiro, NINAGAWA Mika, MATSUYAMA Tomokazu and more



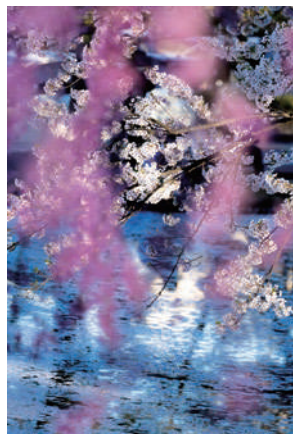
渡辺志桜里 WATANABE Shiori 《堆肥国家》Composted Nation 2024  
Photo: Naohiro Ogawa 参考図版 Referential Image



SIDE CORE 《under city》ongoing Photo: Tada(YUKAI) Courtesy of SIDE CORE  
参考図版 Referential Image



小林エリカ KOBAYASHI Erika 《春のをどり(愛の夢)》  
Haru no Odori (Spring Dance) 2024  
Courtesy of Erika Kobayashi, Yutaka Kikutake Gallery



蜷川実花 NINAGAWA Mika 《花、瞬く光》  
Flowers, Shimmering Light 2022 弘前  
れんが倉庫美術館蔵 Collection of Hirosaki  
Museum of Contemporary Art ©Mika Ninagawa  
Courtesy of Tomio Koyama Gallery



奈良美智 NARA Yoshitomo  
《Girl from the North Country (study)》2025  
©Yoshitomo Nara  
Courtesy of Yoshitomo Nara Foundation

## 関連プログラム

### 開幕セレモニー

4/4④ 15:15-  
会場：弘前れんが倉庫美術館

### アーティスト・リレートーク

4/5⑤ 13:00-13:40 渡辺志桜里  
13:40-14:20 川内理香子  
14:20-15:00 佐藤朋子

会場：展示室内  
(要当日観覧券、予約不要)

### 学芸スタッフによる解説ツアー

4/27、5/18、6/22、7/27、8/17、9/21、  
10/19、11/9⑥ 11:00-11:30  
(要当日観覧券、予約不要)

### 蜷川実花《Embracing Lights》特別上映会

4/5⑤、6⑥、15⑦、22⑧、26⑨-29⑩⑪、  
5/3⑫-5⑬⑭ 10:00-17:00  
会場：館内スタジオB (ループ上映、無料)

### 5周年！れんがひろばのアートフェス

アーティストのさとうりさによる屋外での  
作品展示や音楽ライブ、クリエイターの  
舞台、ナイト・ミュージアム (7/11、12)、  
ワークショップなどを開催。  
7/11⑮-7/13⑯

会場：土淵川吉野町緑地 (弘前れんが  
倉庫美術館前 “れんがひろば”)、  
弘前れんが倉庫美術館、cafe &  
shop BRICK (美術館隣接) ほか

### アーティスト・トーク

7/12⑰ SIDE CORE  
詳細は後日ウェブサイトで発表

### さとうりさによるワークショップ

「からっぽ探検隊！」  
7/13⑱ 14:00-15:00  
会場：土淵川吉野町緑地 (弘前れんが  
倉庫美術館前 “れんがひろば”)

## その他のプログラム

### H-MOCAレクチャー

学芸スタッフによる現代アート講座  
8/9、9/13、10/11⑳ 14:00-15:00  
会場：ライブラリー  
(無料、20名、予約優先)

### 建築ガイドツアー

4/19、5/17、6/21、7/19、8/16、9/20、  
10/18、11/15㉑ 11:00-11:30  
(無料、予約不要)

### H-MOCA LIVE

音楽ライブ (前野健太 5/31㉒) や  
上映プログラムなど、  
さまざまなイベントを予定しています。

### 観覧料 [税込]

一般 1,500円 (1,400円) 大学生・専門学校生 1,000円 (900円) ※ ( ) 内は20名以上の団体料金  
※弘前市民は上記金額から500円引き(他の割引との併用不可) ※無料：高校生以下、弘前市内の留学生、  
満65歳以上の弘前市民、ひろさき多子家族応援パスポート所持者、障がいのある方と付添1名

### Admission [tax included]

Adults 1,500 yen (1,400 yen) University & College Students 1,000 yen (900 yen)  
\*( ) Price for a group over 20 people \*Free of charge: high school students and under.



展覧会に  
ついて



About  
Exhibition

### アクセスの詳細はこちら



アクセス



Access

当館に駐車場はございません。お車の方は  
近隣の有料駐車場をご利用ください。

観覧料割引駐車場 (2名まで100円引き)  
上土手町駐車場、アウトエア弘前、  
したてスカイパーク、三井のリパーク弘前桶屋町、  
三井のリパーク弘前桶屋町第2、タイムズ中央弘前駅前

弘前れんが倉庫美術館  
〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1 Tel:0172-32-8950

Hirosaki Museum of Contemporary Art  
2-1 Yoshino-cho, Hirosaki City, Aomori,  
036-8188 Japan

www.hirosaki-moca.jp

イベントの詳細や  
申込方法はこちら



表 Front Image  
川内理香子 KAWAUCHI Rikako  
《PIC-NIC》2024 (部分)  
©Rikako Kawauchi, courtesy  
of the artist and WAITINGROOM